

## 令和3年度 学校自己評価報告書

### 1 地域との連携・協働による教育

考察等	◎保護者や地域の方に対して誠意をもって対応している。学校支援地域本部としての取り組みも充実し、学校支援コーディネーターとの連携や学校運営委員会への関心など、地域の方々との協力も大切にしている。また、2年ぶりに学校公開を実施するなど感染症対策を徹底し、徐々に行事の公開なども実施していく予定である。 ○PTAや地域との連携については、オンラインを活用するなど可能な限り進めていく。また、行事が実施される場合は、部活動等を引率して参加していく。
改善策	○PTA活動や地域行事の開催の周知をオンライン等を活用するなど、今まで以上に徹底していく。

### 2 「世田谷11+」で実現する質の高い教育の推進

#### (1) 学習指導

考察等	◎新学習指導要領の内容を意識し、主体的・対話的で深い学びを進めている授業がほとんどである。また、タブレットを使用した授業にも積極的に取り組んでいる。
改善策	○今後も継続して、各授業のねらいを明確にするとともに、ICTの活用などにより分かりやすい授業を実現していく。

#### (2) 特別活動・学校行事

考察等	◎学校行事への取り組みの意識の高さは伝統となってきた。縦や横のつながりを意識して取り組ませている。行事は、すぐに中止ではなく、どのようにすれば実施できるかを考え、生徒自らが考え、行動する場面を設定することで、生徒は自己有用感が高まり、達成感や充実感を感じている。
改善策	○行事は実施できたが、全て無観客で行ったため来年度は保護者に公開していきたい。

#### (3) キャリア教育

考察等	◎感染症拡大防止の観点から職場体験は実施しなかった。代案として、SDGsの考えを基本とした「会社づくり」の学習を進めた。様々な発想の会社がつくられ有意義な学習となった。
-----	--

#### (4) 世田谷9年教育

考察等	◎2年ぶりに学舎の交流を行った。今後は、1人1台配付されているタブレットを使用した授業展開について小学校・中学校で連携し、よりよい授業づくりに繋げていく。
-----	---

#### (5) 特別支援教育

考察等	○個々の生徒の特性を把握し、心に寄り添う指導を心がけている。また、すまいるルームと連携し、発達障害の理解を深めている。
改善策	○すまいるルーム拠点校として、発達障害への理解を深めるため、積極的に研修会など理解を深めていく。

### 3 信頼と誇りのもてる学校づくり

考察等	◎学校関係者評価アンケート等の回答を参考に、保護者や地域の意見を計画的に収集・分析して迅速な改善に努め、全教職員が授業改善に努めている。また、多く教職員がホームページの更新や学級だよりを作成するなど情報発信を重要視し、信頼される学校づくりに取り組んでいる。
-----	--

### 4 安全安心と学びを充実する教育環境の整備

考察等	◎生徒にとって安心かつ安全で、充実した学習環境が整うよう点検や管理を適切に行い、教育環境の整備に努めていく。
-----	--